

VOICE

実際に授業を受けた
生徒にインタビュー！

画面越しに外国人の講師の
方がゆっくり話してくれて、
自分らしく表現できました。



新津中学校
石田 華子さん

普段の英語の授業で習っ
たことが、生かせたと感
じました！



新津中学校
緒方 琉偉さん

講師の方が明るくて緊張が
ほぐれました。いつもの授
業より話せたと思います！



新津中学校
松本 颯さん

初めて、海外の人と話して
直接コミュニケーションが
取れたことが印象的でした。



新津中学校
杉本 隆晟さん

ICTで拓く、新しい学びの形

苅田町では【確かな学力、たくましい体力、豊かな心を培う】
ことを目標に、これからの社会で活躍できる子どもたちの育成に
取り組んでいます。今回のオンライン英語授業は、ICTを活用
した新しい学びの形です。生徒たちが楽しみながら英語を話
す姿に大きな可能性を感じました。また、小学5年生では教
室と外国の小学校の教室をつなぐオンライン海外交流も予
定しています。これからも外国語教育の充実を進め、子ども
たちが自信を持って未来へ進めるよう支援してまいります。

【ICT教育】タブレットなどのデジタル機器の導入、イン
ターネットを介した学習ツールの活用など、教育の
デジタル化の総称です。

苅田町教育委員会
教育長 井上 三津子



町内初！ 中学生×1人1台端末×英語

特集 新しい授業のカタチ

【聞く】から【伝え合う】へ英語授業が変わる一。

中学2年生のオンライン英語授業取材しました！



苅

田中学校と新津中学校の2年生を対
象に、町内初となるオンライン英会
話授業が実施されました。生徒たちは1人
1台のタブレットを使い、海外在住の外国
人講師とリアルタイムで会話。2人1組の
ペアに1人の外国人講師がつく、ほぼマン
ツーマンに近い形で英語を「話す」授業で
す。教室には、ヘッドセット（マイク付き
ヘッドホン）をつけた生徒たちが並びます。
画面の向こうには、笑顔で語りかける外国
人講師。いつもとは違う授業の風景が、そ
こにありました。

緊張から笑顔へ

生徒たちの50分間

授業はまず、スタートアップから。自己紹介
や簡単なスペル読みで口ならしをすると、緊
張した生徒の声が少しずつ和らいできました。
続くトピックトークでは、イラストを手がかり
にやり取りが広がります。「この教科は何
ですか」という問いに答え、さらに「好きで
すか」といった追加の質問に、自分の言葉で
説明を重ねようとする姿が印象的でした。う
まく言えないときは、ペアの友達と顔を見合
わせて相談。「こう言えばいいんじゃない？」
と助け合いながら、会話を続けていきました。
タスク・カンバセーションでは、文法や文型
を使う練習に挑戦。言い換えや言い直しを試
みるたび、ペア同士で目配せをしながら支え
合い、伝わった瞬間には笑顔も見られました。

授業の最後は「フィードバックタイム」。
聞き取れたこと、言えたこと、言いたかつ
たけれど言えなかったこと——自分の学び
を振り返る時間です。画面を閉じた生徒た
ちの表情には、達成感が満ちていました。

これからの英語教育を
苅田町から

オンラインならではのテンポの良い切り替
えと、少人数対話の密度の高さが、英語を
「勉強」から「やり取り」へと近づけてい
ます。

町では今後、このオンライン英会話授業を
中学校で年1回程度実施していく予定で
す。一人ひとりの生徒が、自分の言葉で気
持ちや考えを伝えられるように。画面の向
こうの先生と、そしていつか世界中の人た
ちと、自信を持って話せるように。

苅田町の英語授業は、新しいステージへと進
んでいます。